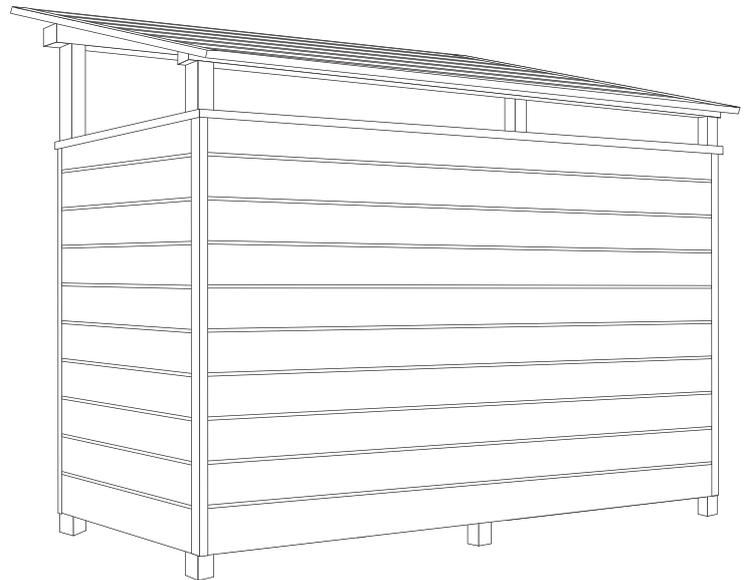


# SOREYANE

## 取扱説明書



品番：SRY-SET、SRY-Y、SRY-K

M80016-22

この度は、美濃クラフトの商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

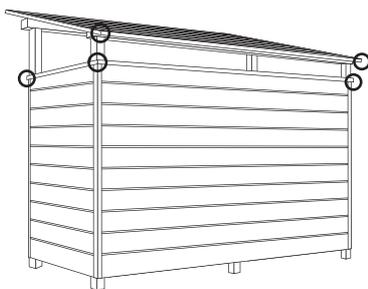
施工・組立は必ず専門業者の方が行ってください。

この取扱説明書の内容は、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。

製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みになり、正しく理解したうえでお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。

### ⚠ 取扱上のご注意

- ネジ・ボルトは緩めないでください。ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。
- 製品の分解禁止！ケガをしたり、重大な事故につながるおそれがあります。
- 頭上に注意！頭をぶつけてケガをするおそれがあります。
- 金属製品ですので、端や角などでケガをするおそれがあります。



⚠ 特に注意！

- 清掃時は手袋をはめて行ってください。ケガをするおそれがあります
- 柱に電線を巻きつけないでください。漏電により感電するおそれがあります。
- 柱・桁・笠木・屋根にぶら下がらないでください。落ちてケガをしたり、製品破損のおそれがあります。

## ⚠️ 安全上のご注意

### 風に対する対応について

- 風速は設置する地域や場所・風向き等の環境により異なり、建物等の隙間から強風が吹き抜けることがあります。強風で製品が倒れるおそれがある場合は、ロープ等の補強を取り付けてください。

### 積雪に対する対応について

- 本商品の耐積雪強度は1000N/㎡であり、積雪量に換算すると新雪で50cm相当です。仕様を超える地域では設置できません。50cmを超える積雪がある場合は、雪下ろしをお願い致します。
- 降雪時には早めに雪下ろしを行ってください。雪下ろしには、金属製のスコップを使用しないでください。雪下ろしの際、絶対に水をかけないでください。雪が氷状になり、さらに重くなります。



新雪  
降り積もったばかりの雪 (雪比重: 0.2)  
耐荷重 50cm



しまり雪  
積雪の重みで圧縮された雪 (雪比重: 0.5)  
耐荷重 20cm

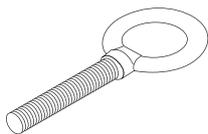


ざらめ雪  
溶けた雪が再度凍り、氷の粒が固まった雪 (雪比重: 0.7)  
耐荷重 14cm

※数値はおよその目安です。雪質は「雪氷学会の分類名称」による

- 屋根の上に乗らないでください。製品が変形・破損したり、落ちてケガをするおそれがあります。また、物を載せたりしないでください。
- 年1回は定期点検をしてください。ネジ・ボルト類が緩んでいると、重大な事故につながるおそれがあります。ネジが緩んでいた場合は締め直しをしてください。

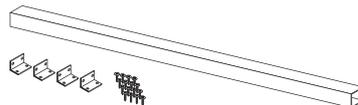
## 同梱品



M8ロングアイボルト  
3本

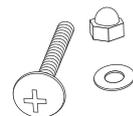


M8ターンナット  
3個



40角アルミパイプ&Lアングル&  
ピアスウストセット  
1セット

※照明やインターホンの配線を隠すためなどにお使いください。



トラスネジ・ワッシャー  
袋ナット 4セット

※ポストを取り付ける際に  
使用します。

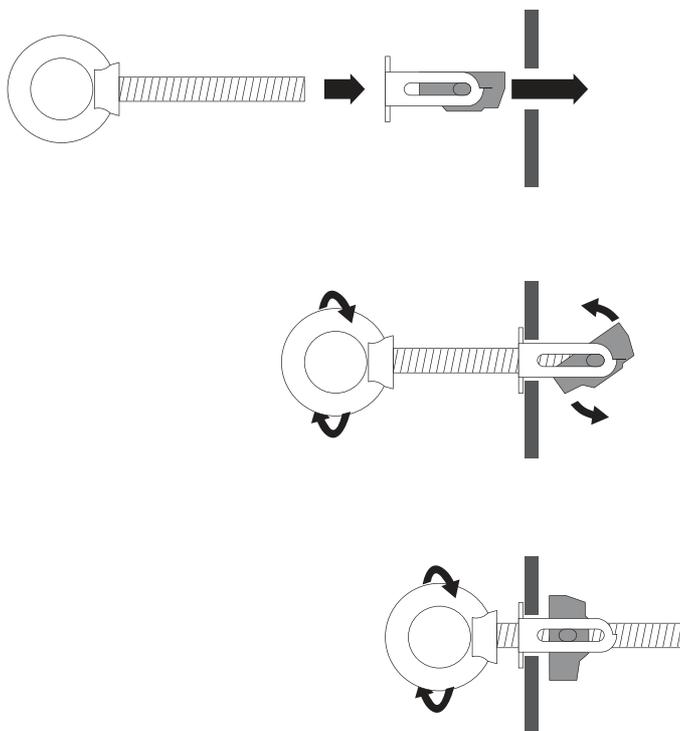
各同梱品の取り付けについては次頁へ➡

## M8ロングアイボルトの取付方法について

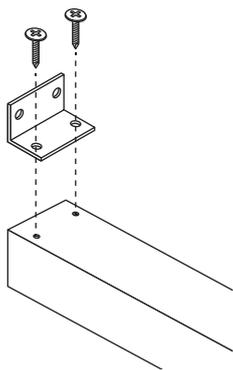
- 取付場所は70角の柱及び移動桁が対象です。



取り付けたい箇所に $\phi 12.7$ の穴をあけ、そこにターンナットをはめこんで、ロングアイボルトを差し込み回し固定します。



## 40角アルミパイプ&Lアングルセットの組立・取付方法について



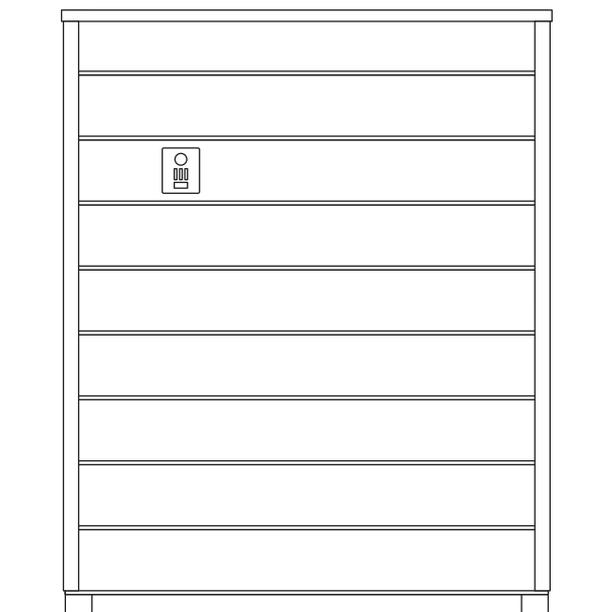
Lアングルを同梱のピアスウストで40角パイプにある下穴に固定します。  
Lアングル4つを4箇所固定します。  
壁材内側の任意の位置にピアスウストで固定します。



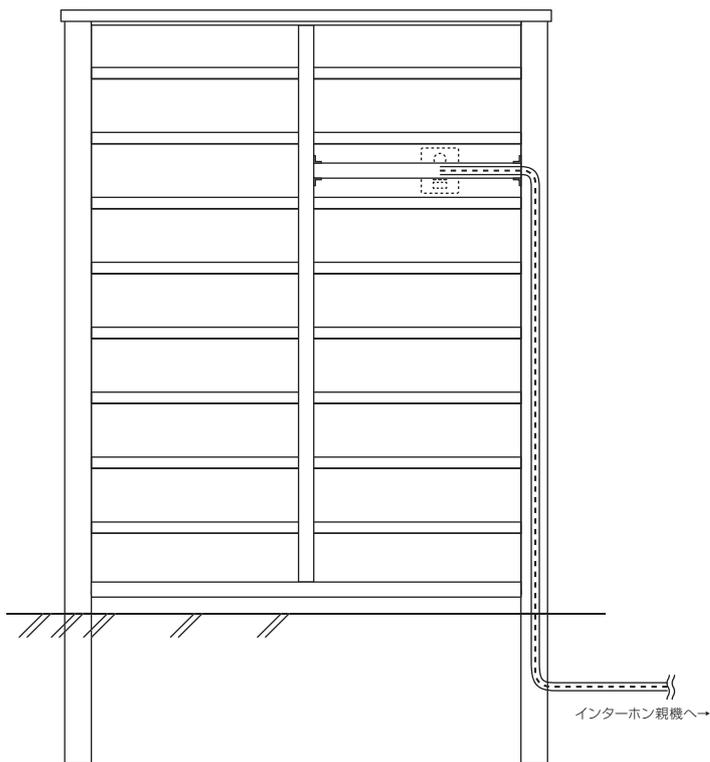
インターホンや照明を取り付ける際は、組立前に配線保護管を通す穴をあけ、電線保護管を通しながら組み立てを行ってください。

### ●施工例 (参考)

【正面】



【背面】

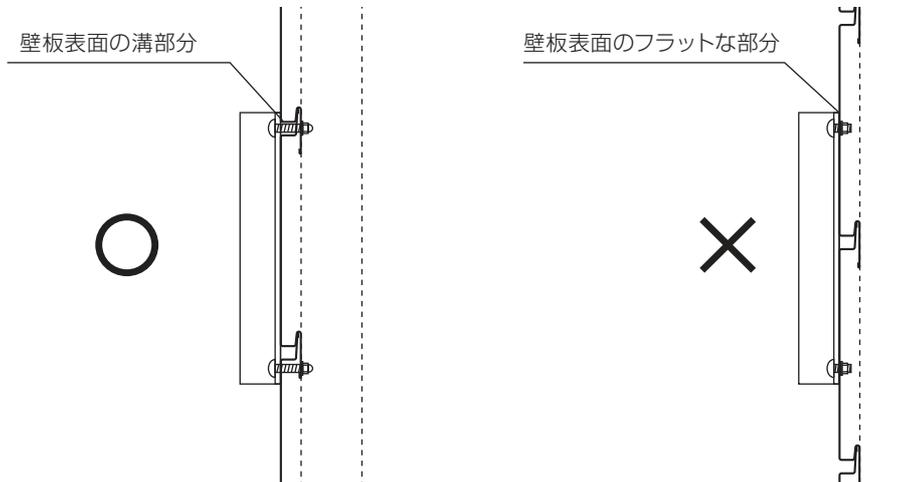


# 美濃クラフト製ポストの取付方法について

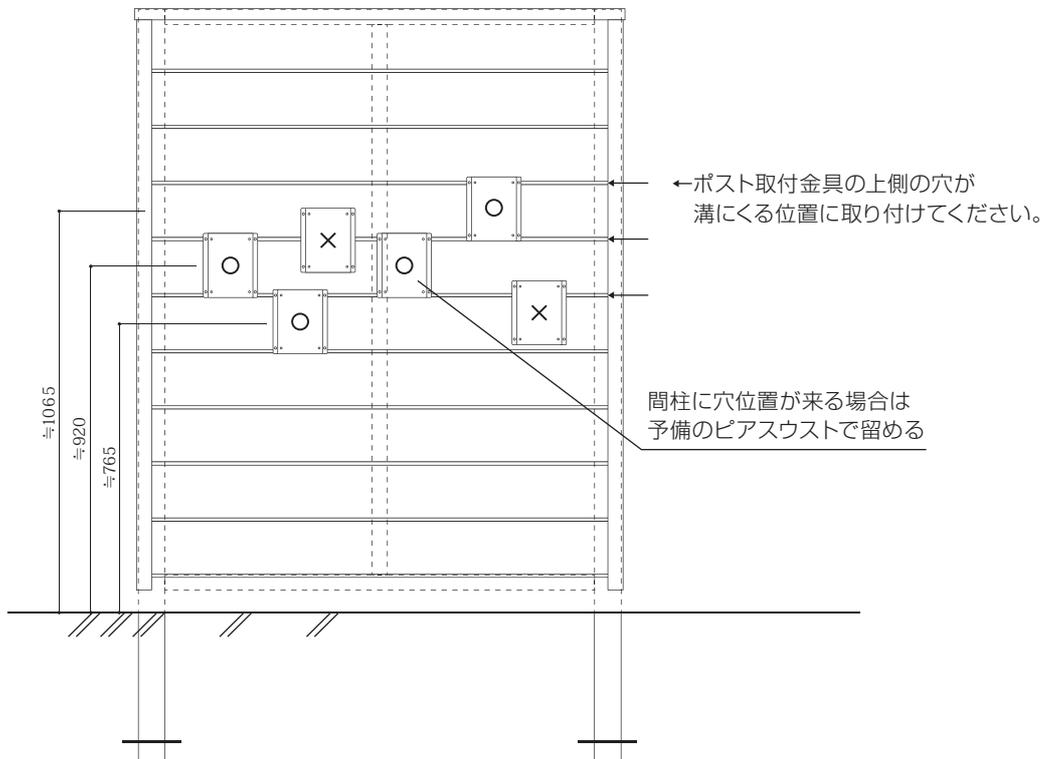


取付金具の上側の穴が壁板の溝部分でないと、ポストがかなり揺れます。  
壁板の溝部分以外の場所には取付不可となります。

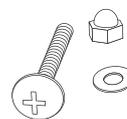
【側面図】



## ●取付可能箇所参考図



【同梱品】トラスネジ・ワッシャー・袋ナットで固定します。



## メンテナンスについて

- 3～6ヶ月に一度のお手入れをお薦め致します。
- 汚れを流すように水をかけながら、やわらかい布（マイクロファイバークロスなど）に中性洗剤を含ませ丁寧に拭き、乾いた布で洗剤が残らないように拭き取って下さい。
- 台風や集中豪雨後は、もらい錆を受けやすいため、早めに水洗い又は中性洗剤で洗い流した後、水分が残らないように拭き上げて下さい。
- 研磨剤入りのクレンザーや、塩素入り洗剤、シンナー、金属たわしなどでの清掃は表面を傷つける為、行なわないで下さい。
- 製品にキズが付いた場合は、同梱の補修塗料で補修を行ってください。放っておくと腐食の原因となります。

## 保証・修理について

### ① 保証期間について

商品の保証期間は商品出荷日より1年間 とさせていただきます。

- 保証期間内でも有料となる場合がございますので、「商品保証について」をよくお読みください。



商品保証について

### ② 修理について

- 製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店（工事店）にご連絡ください。

●販売元

株式会社 **美濃ワラフト**

〒501-6002 岐阜県羽島郡岐南町三宅3丁目228  
TEL:058-248-3000 FAX:058-247-5783  
URL: <https://www.minocraft.co.jp>

<日本製>

施工後は本書をお施主様にお渡しください



- ・施工は必ず専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと、不具合の原因となる場合があります。
- ・取り扱い説明書は、必ずお客様へお渡しください。

## ◆梱包内容

- ・開梱時に種類と数量を確認してください（部品袋の内容も確認してください）。
- ・開梱後、製品にキズをつけないように保管してください。
- ・製品に破損や異常がないか確認してください。
- ・【 】内は入数を示します。
- ・ネジ類には予備が入っています。（ ）内は施工に必要な数量を示します。

## 壁用笠木セット

壁用笠木(長)外【1】  L=2497	壁用笠木(長)内【1】  L=2447	壁用笠木(短)外【1】  L=1297	壁用笠木(短)内【1】  L=1247		
---------------------------	---------------------------	---------------------------	---------------------------	--	--

## 柱セット

端柱A【1】  L=2000(補強入り)	端柱B【1】  L=2000(補強入り)	角柱【1】  L=2000	中間柱【1】  L=2000(補強入り)	コーナーアングル【3】  L=2000(補強入り)	
----------------------------	----------------------------	---------------------	----------------------------	---------------------------------	--

## 骨材・部品セット

上下棧【6】  L=1130	中間補強【3】  L=1460	アングル部品【24】  L=40	笠木エンドキャップ【2】  L=100	笠木エンドキャップ スペーサー【2】  L=24	壁スペーサー【4】  L=80
アンカー棒【4】  L=130	ピアスウスト φ4x19 【190】(184) 	ピアスウスト φ4x19 ホワイト【13】(12) 	ピアスウスト φ4x30 ホワイト【5】(4) 	皿ドリルネジ φ4x16 ホワイト【15】(14) 	タッチアップペン【1】 

## 壁板(長)セット

壁板【6】  L=2450
---------------------

## 壁板(長)セット

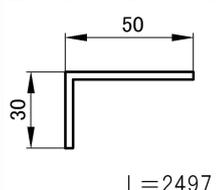
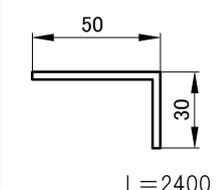
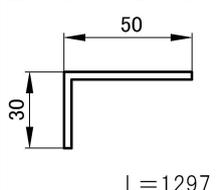
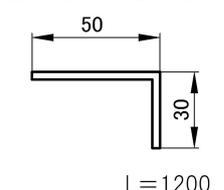
壁板【4】  L=2450
---------------------

## 壁板(短)セット

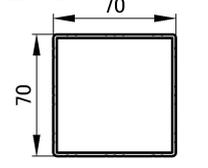
壁板【10】  L=1250	
----------------------	--

## ◆梱包内容

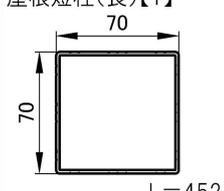
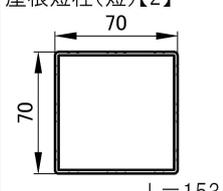
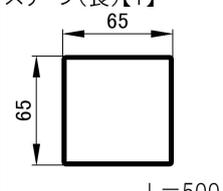
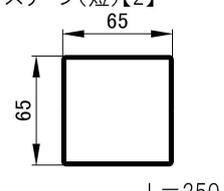
### 屋根用笠木セット

屋根用笠木(長)外【1】  L=2497	屋根用笠木(長)内【1】  L=2400	屋根用笠木(短)外【1】  L=1297	屋根用笠木(短)内【1】  L=1200
---	---	---	--

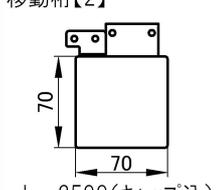
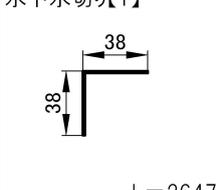
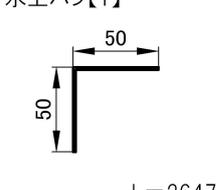
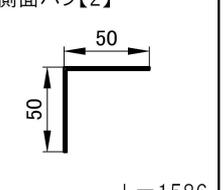
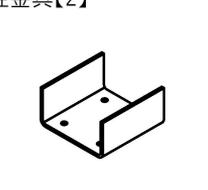
### 屋根柱セット

屋根柱【1】  L=2452(補強入り)
---

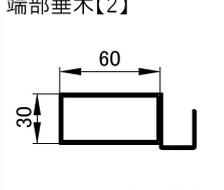
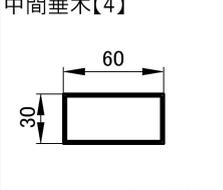
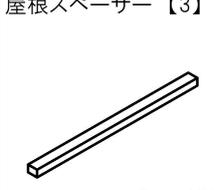
### 屋根短柱・部品セット

屋根短柱(長)【1】  L=452	屋根短柱(短)【2】  L=153	スリーブ(長)【1】  L=500	スリーブ(短)【2】  L=250	アンカー棒【1】  L≒130	ナベドリルネジ φ4x13 【9】(8) 
ピասrust φ4x19 【86】(84) 	ピասrust φ4x19 ホワイト【7】(6) 	ピասrust φ4x30 ホワイト【6】(6) 	ピասrust φ4x19 ゴムワッシャ付【50】(48) 	/	

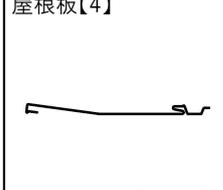
### 移動桁セット

移動桁【2】  L=2599(キャップ込)	屋根スターター【1】  L=2605	水下水切り【1】  L=2647	水上ハフ【1】  L=2647	側面ハフ【2】  L=1586	柱金具【2】 
--	---	---	---	--	---

### 垂木セット

端部垂木【2】  L=1575	中間垂木【4】  L=1575	屋根スペーサー【3】  L=875
--	--	--

### 屋根板セット

屋根板【4】  L=2620	/	
---	---	--



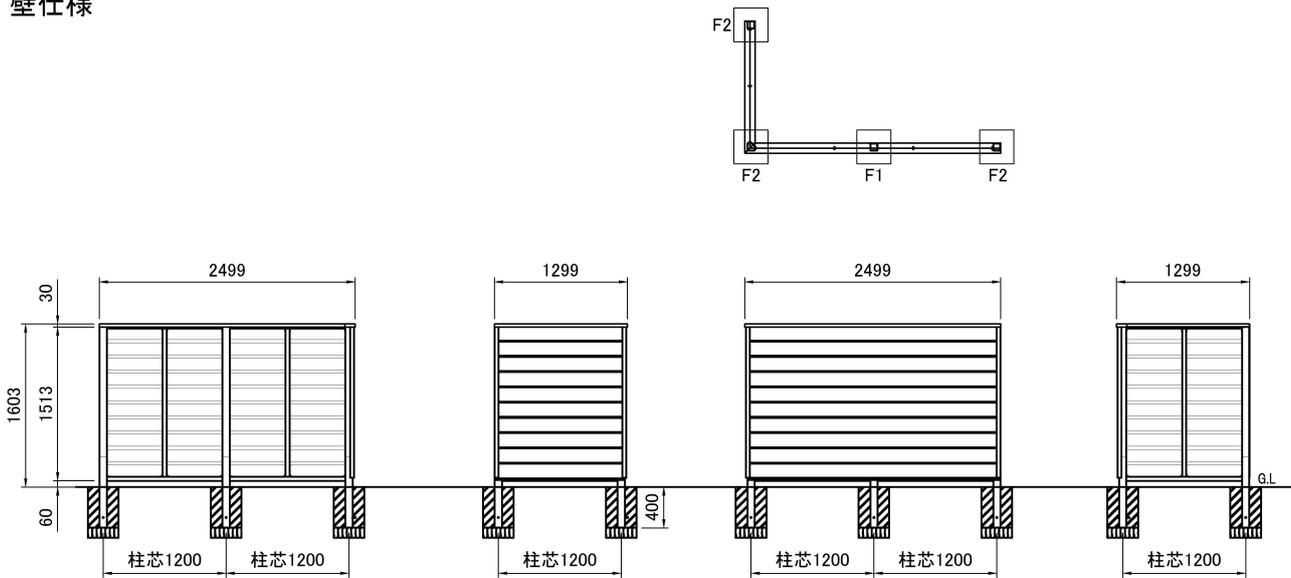
### ・設置上、施工上の注意

- ・本製品は1階にのみ取付ができる設計になっております。2階以上には取り付けないでください。
- ・強風が屋根を吹き上げるおそれのある場所には設置しないでください。
- ・地下埋蔵物(給排水管など)に影響をおよぼさないように柱位置を決めてください。
- ・指示してあるネジをすべて確実に締めてください。
- ・基礎は指定寸法以上とし、コンクリートを用いて施工してください。
- ・コンクリートの養生期間は十分(4日~7日)にとり、養生期間中は振動させたりしないよう、お客様や他の工事業者様  
にお願いするか、その旨を注意表示してください。
- ・施工後にネジ類にゆるみやガタつき、また使用上危険な箇所や汚れなどが点検してください。
- ・作業終了後の製品にキズ、ヘコミなどが点検してください。
- ・取り扱い説明書に基づき、製品の使い方や保守・点検方法およびメンテナンス方法を必ずお客様へ説明してください。

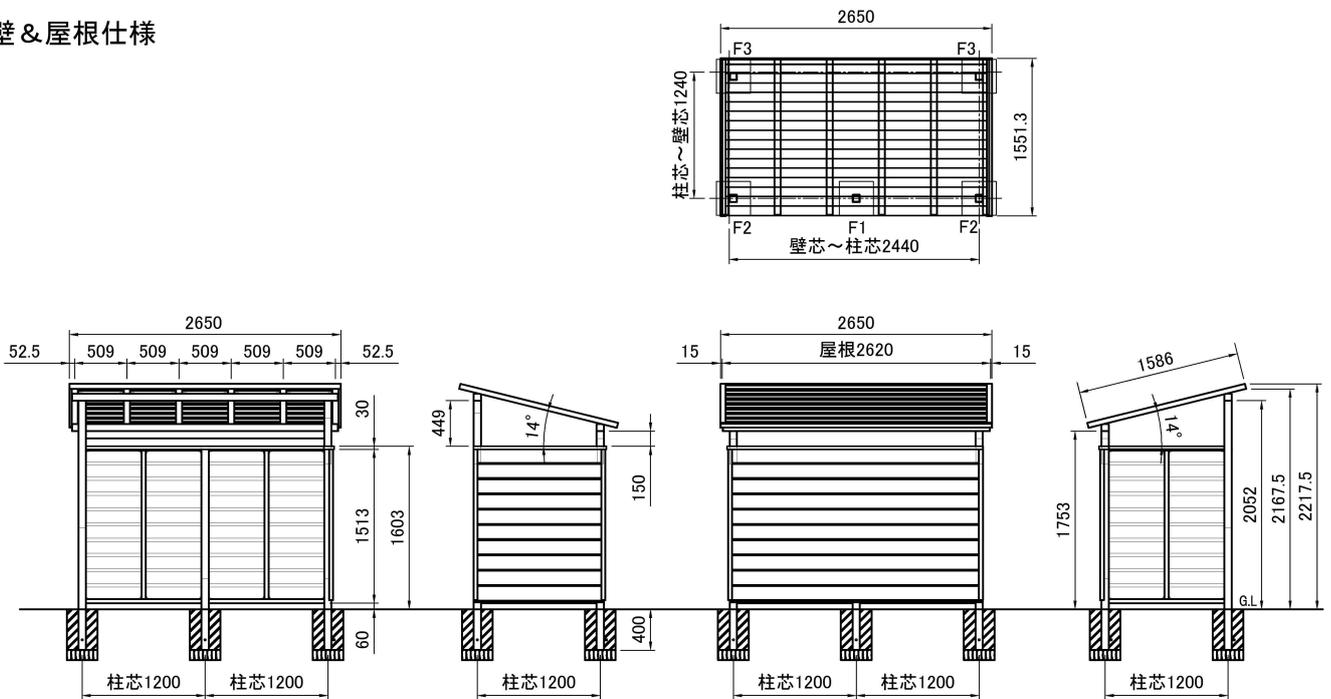
姿図・規格寸法図

※本図は左用を示します。右用は対称。

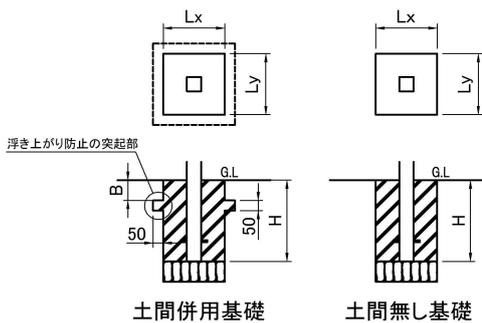
壁仕様



壁&屋根仕様



基礎穴 (地耐力=50kN/m<sup>2</sup>以上)



※B=有筋土間100mm以上

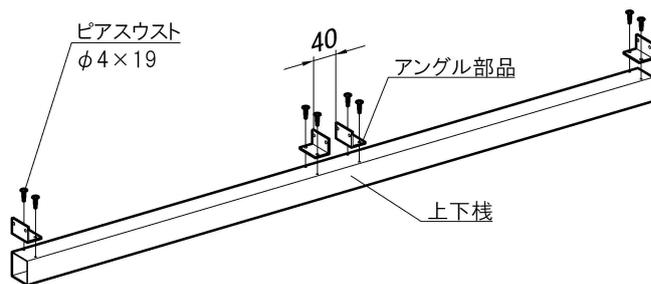
	符号	壁仕様 必要基礎寸法(mm) Lx x Ly x H	壁&屋根仕様 必要基礎寸法(mm) Lx x Ly x H
土間併用基礎	F1	300 x 300 x 400	300 x 300 x 400
	F2	300 x 300 x 400	300 x 300 x 400
土間無し基礎	F1	600 x 600 x 400	600 x 600 x 400
	F2	400 x 400 x 400	550 x 550 x 400
	F3	400 x 400 x 400	500 x 500 x 400

※符号が示す位置は上記平面図を参照

## 施工方法

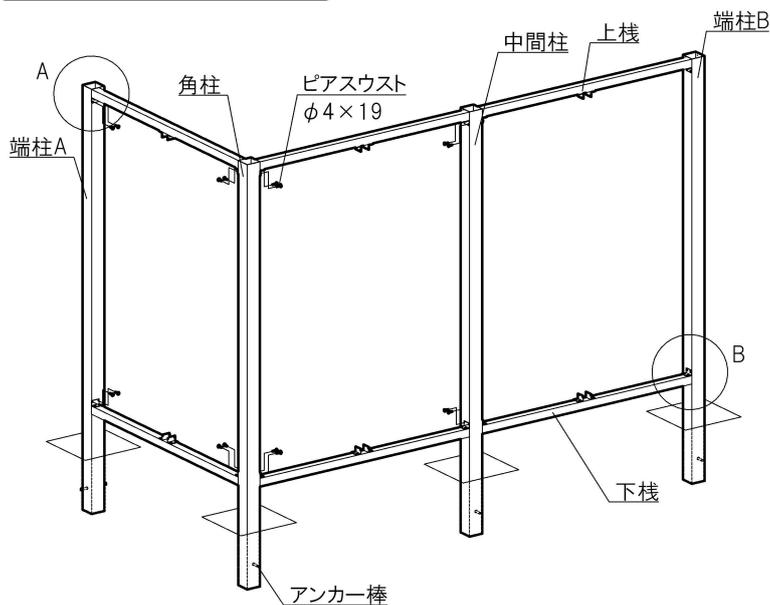
※本説明書は左用を示します。右用は対称。

### 1. 上下棧へのアングル部品取り付け

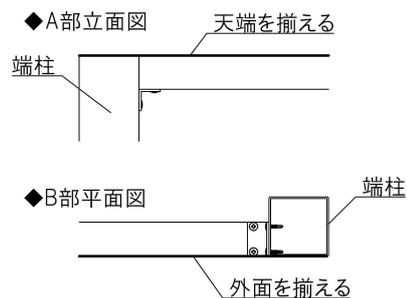


- ① 上下棧の下穴に合わせて、アングル部品を取り付けます。  
この時、中間部のアングル部品は内々で40mm離れるように取り付けてください。

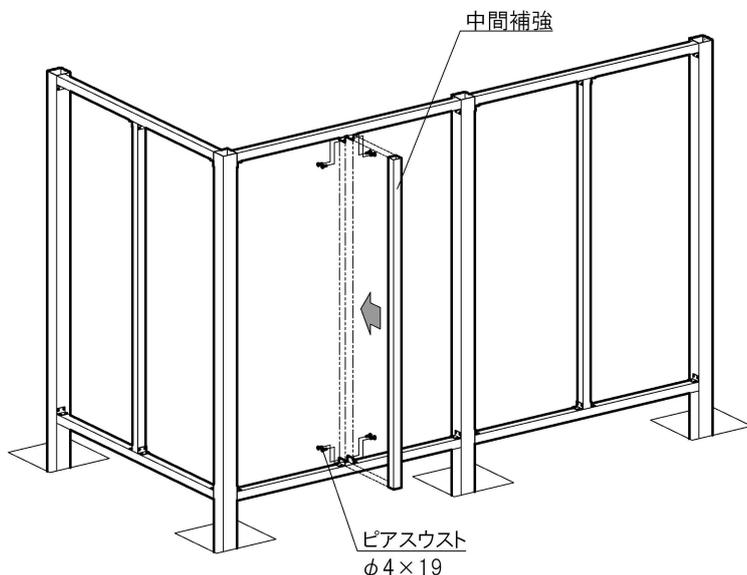
### 2. 柱と上下棧の組み立て



- ① 姿図・規格寸法図の柱位置に掘った穴に割栗石を入れ基礎穴底面を突き固めます。
- ② 柱にアンカー棒を通し、柱を仮固定します。  
柱は添え木などで支えてください。
- ③ 柱に加工されている下穴に従って上下棧を取り付けます。  
この時、柱の天端と上棧の天端、柱の外側と上下棧の外側が揃うように取り付けてください。

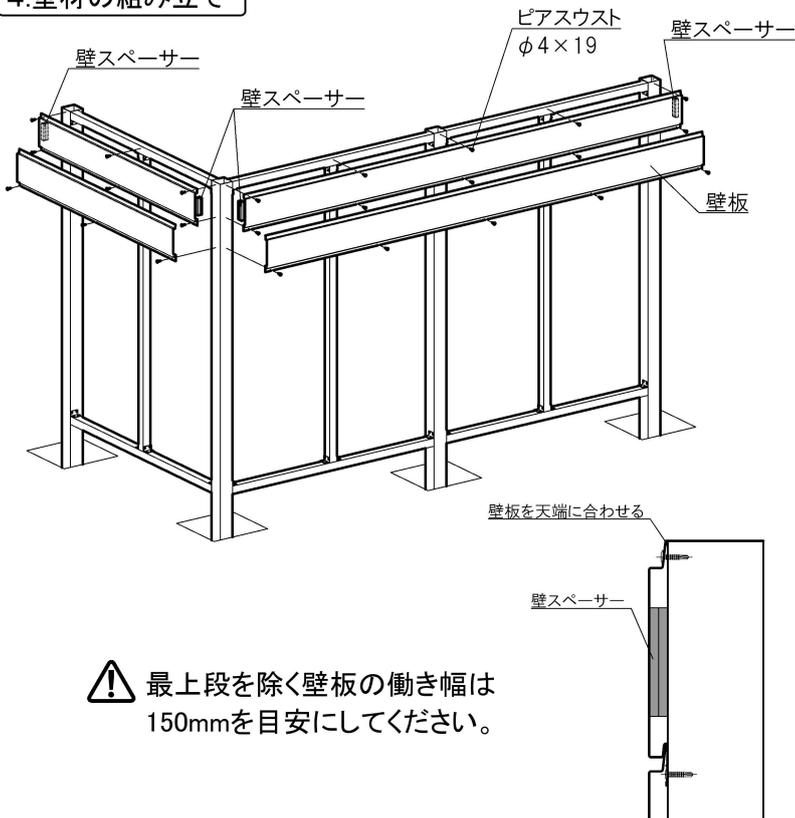


### 3. 中間補強の組み立て



- ① 上下棧の中央に取り付けたアングル部品に中間補強を取り付けます。
  - ② 組み立てられた部材の直角、および水平を確かめ、ゆがみがある場合は調整します。
- ⚠ 次項の壁材を取り付けた後は、ゆがみの調整が行いにくくなります。

#### 4. 壁材の組み立て

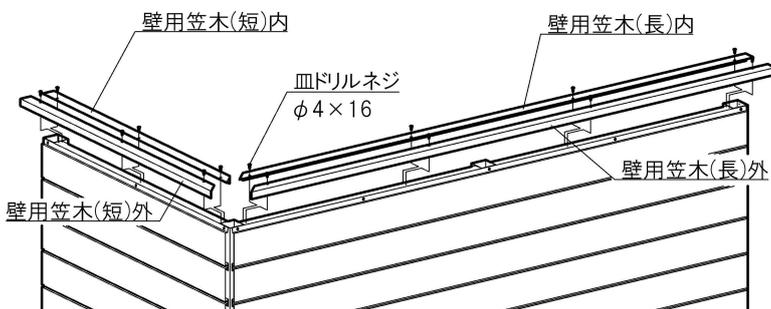


⚠ 最上段を除く壁板の働き幅は150mmを目安にしてください。

- ①最上段の壁板両端部内側に、壁板つぶれ防止の壁スペーサーを貼り付けます。
- ②骨材の天端に最上段の壁材天端を突き合わせ、壁板上部をネジで固定します。ネジの固定位置は、柱と中間補強の位置で、壁板(長)は5カ所、壁板(短)は3カ所を固定します。この時、壁材のクリアランスを水平方向に対して柱外から片側10mmずつ設けます。尚、最上段の壁板のみ壁板上部と壁板下部の両方をネジで固定します。
- ③最上段の壁板を取り付け後は、取り付け済の壁板下部に次の壁板上部をすべり込ませるように差し込み、壁板下部をネジで固定します。すべての壁板に対して連続して行い、最下部の壁板が下棧下端より10mm程上になるように調整します。
- ④壁板を取り付ける際に出る切粉は、エアブローなどを使用して、十分に取り除いてください。

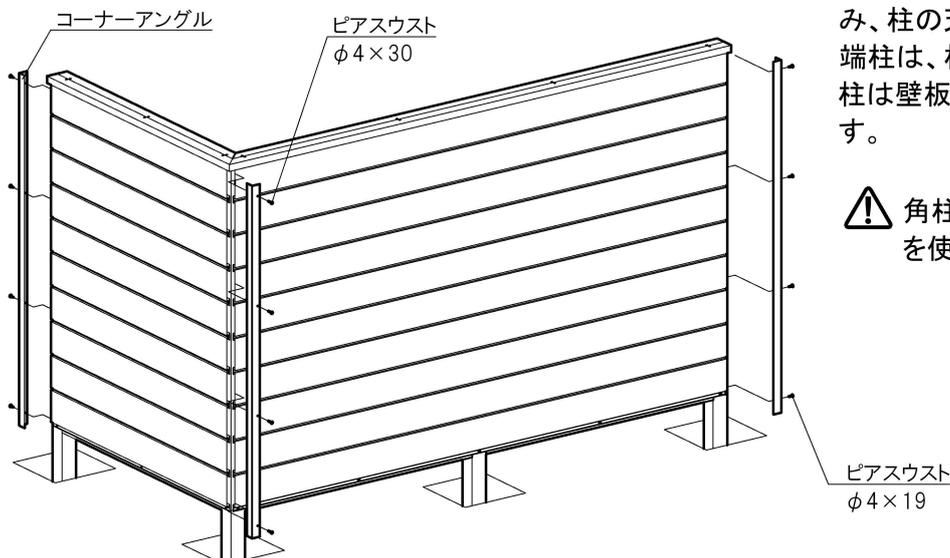
#### 5. 笠木の組み立て

※壁&屋根仕様の場合は、9項に進んでください。



- ①内側の笠木から取り付けていきます。柱の内側と笠木の内側には1.2mmのクリアランスを設けます。部品セットに同梱されている笠木エンドキャップスペーサーは厚みが1.2mmありますので仮止めで使用すると位置合わせが安易になります。(次ページの7項を参照)
- ②木口などアルミの地肌が気になる場合は、部品に同梱されているペンでタッチアップをしてください。

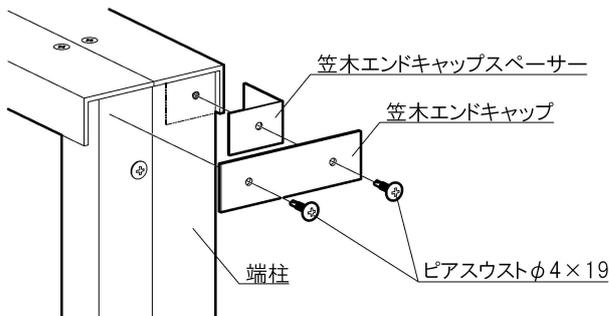
#### 6. コーナーアングルの組み立て



- ①笠木の内面にコーナーアングルを差し込み、柱の天端に揃うように取り付けます。端柱は、柱側からネジを取り付けます。角柱は壁板(長)側からネジを取り付けます。

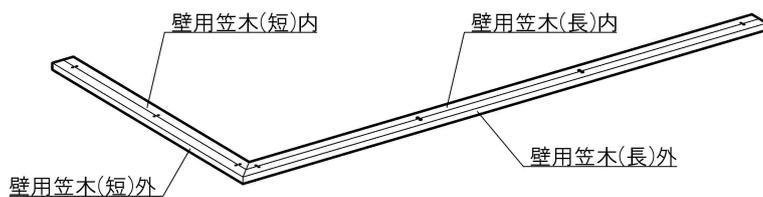
⚠ 角柱への取付はピアスウストφ4x30を使用します。

### 7. 笠木エンドキャップの組み立て

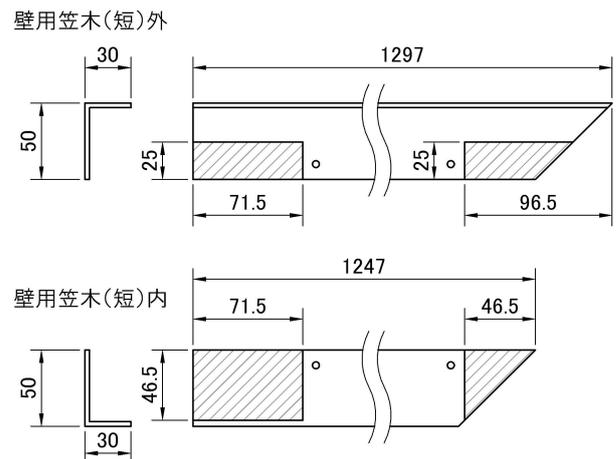
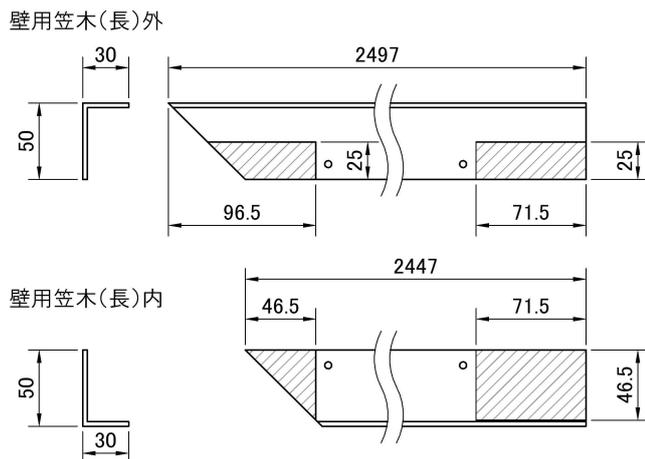


- ① 笠木エンドキャップスペーサーと共に笠木エンドキャップを取り付けます。この時、エンドキャップは笠木とズレが無いように調整して固定します。
- ② 木口などアルミの地肌が気になる場合は部品に同梱されているペンでタッチアップをしてください。

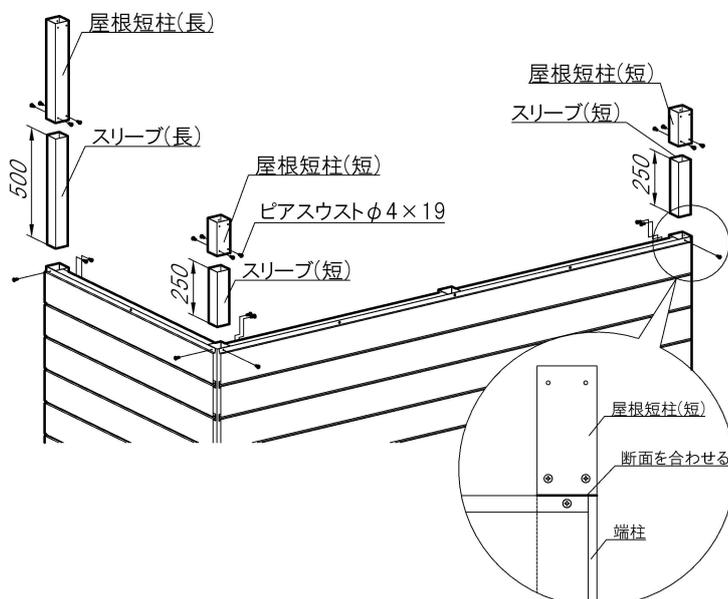
### 8. 壁仕様の笠木を屋根仕様に現場加工する場合



- ① 屋根仕様の笠木は、短柱を挿入するためのキリカキが必要です。笠木を取り外し、下図に記載された寸法でキリカキ(斜線部)加工を行ってください。
- ② 笠木を取り付けているネジ類は再利用しますので、捨てないでください。
- ③ 木口などアルミの地肌が見えている場合部品に同梱されているペンでタッチアップをしてください。

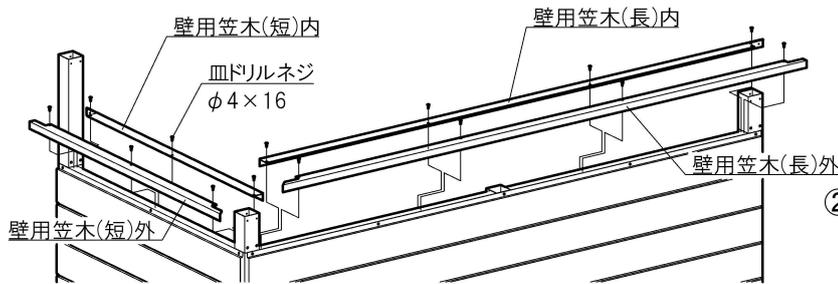


### 9. 短柱の組み立て



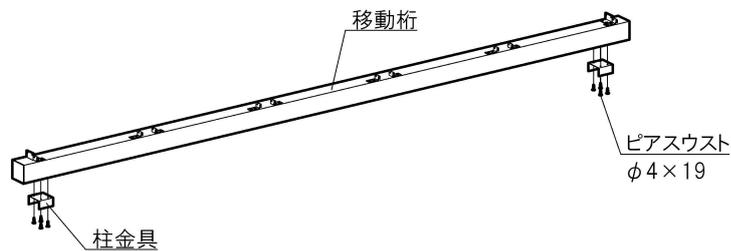
- ① 端柱と角柱に取り付けた最上段の壁材取り付けネジと、上棧のアングル部品取り付けネジは、スリーブ挿入時に干渉しますので、取り外します。
- ② 各柱の上面からスリーブを挿入します。この時、最上段の壁材下側を取り付けたネジに当たるまで押し込みます。スリーブ(短)は75mm、スリーブ(長)は325mm程度、柱天から飛び出します。
- ③ 挿入されたスリーブの上から短柱をかぶせます。この時、柱上面の断面と短柱下面の断面がピッタリと合うように調整して、ネジで固定します。
- ④ 先ほど取り外した壁材とアングル部品の取り付けネジを再度取り付けます。

### 10. 屋根用笠木の組み立て

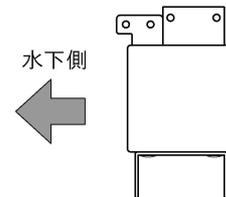


- ①内側の笠木から取り付けていきます。柱の内側と笠木の内側には1.2mmのクリアランスを設けます。部品セットに同梱されている笠木エンドキャップスペーサーは厚みが1.2mmありますので仮止めで使用すると位置合わせが容易になります。(前ページの7項を参照)
- ②木口などアルミの地肌が気になる場合は、部品に同梱されているペンでタッチアップをしてください。

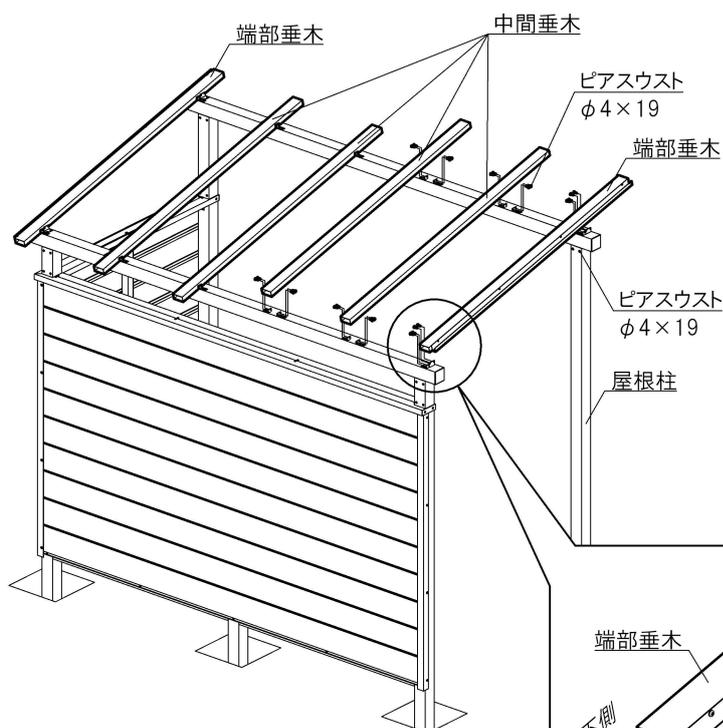
### 11. 移動桁・屋根柱の組み立て



- ①移動桁下面に柱金具を取り付けた後、水下側の方向に注意して、短柱と屋根柱の上面から移動桁を差し込みネジで固定します。この時、屋根柱はアンカー棒を通し、柱を仮固定しておきます。屋根柱は添え木などで支えてください。

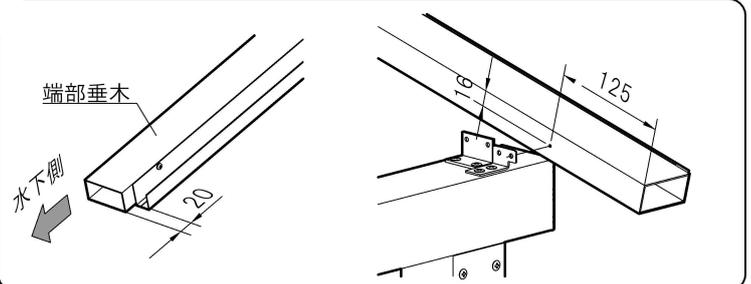


### 12. 垂木の組み立て

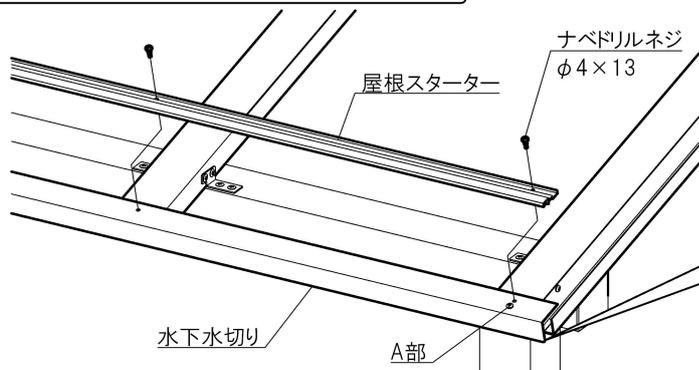


- ①水下側の移動桁に取り付けられている金具の穴に、垂木の外観左側に加工されている位置決め用の下穴を合わせ、ネジで固定します。尚、端部垂木は取り付け済の部材が20mm控えている方向を水下側にします。
- ②移動桁に取り付けられている金具のすべての穴をネジで固定します。
- ③屋根面の対角が同じ計測値であることと取り付け部材の直角を確かめ、ゆがみがある場合は調整します。

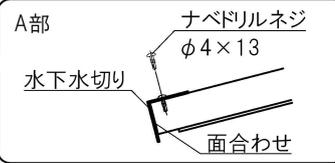
**!** 次項の屋根材を取り付けた後は、ゆがみの調整を行いにくくなります。



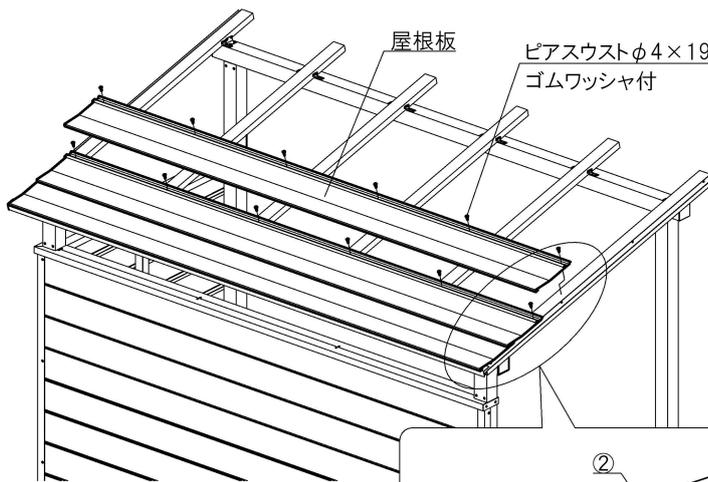
### 13.屋根スターターと水下水切りの組み立て



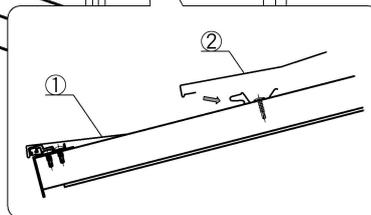
- ① 端部垂木の外面に水下水切りを合わせて位置決めし、両端部の左図A部をネジで固定します。
- ② 水下水切りの上に屋根スターターを乗せて水下水切りと共に垂木に取り付けます。



### 14.屋根の組み立て

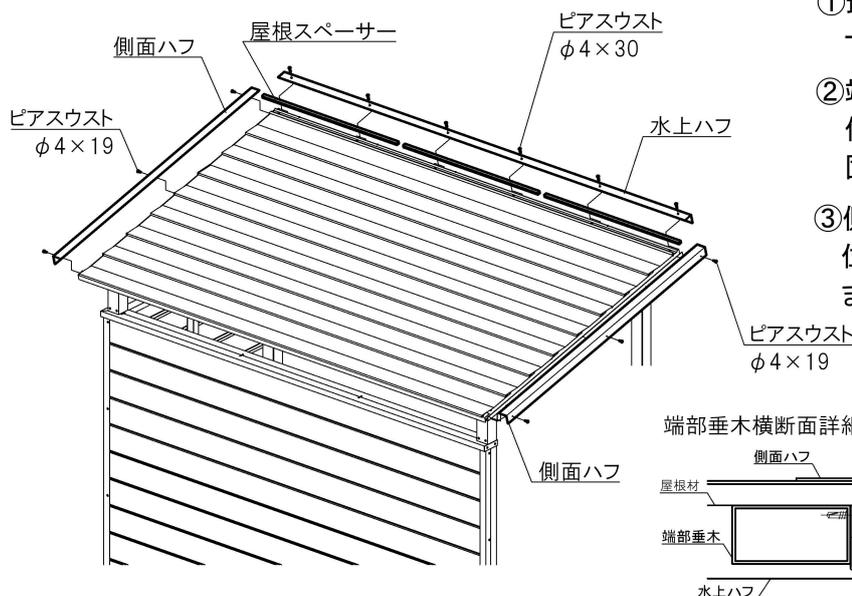


⚠ 屋根の働き幅は190mmを目安にしてください。

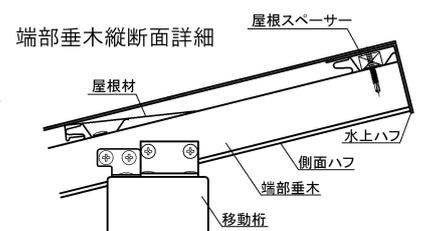
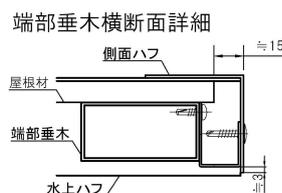


- ① 水下水側の1枚目の屋根材を屋根スターターの奥まで差し込みます。屋根材の水平方向は、端部垂木の外端から15mm程度屋根材を控えた位置に合わせてください。
- ② 垂木の中心線を狙って屋根材水上側凹部にゴムワッシャ付きのネジで固定します。この時、屋根材の切粉が発生しますので、エアブローなどを使用して、十分に除去してください。
- ③ 水下水1枚目の屋根材上部に2枚目の屋根材をひっかけて、2枚目の屋根材も同様に水上側凹部にゴムワッシャ付きのネジで固定します。計8枚の屋根材を取り付けます。尚、垂木の水上端部から屋根材がはみ出さない様に屋根材のクリアランスを調整しながら屋根材を取り付けてください。

### 15.水上ハフ・側面ハフの組み立て



- ① 最上段屋根材の水上側凹部に屋根スペーサーを3本配置します。
- ② 端部垂木の外面に水上ハフを合わせて位置決めし、屋根材と共に垂木にネジで固定します。(ピアスウストφ4x30使用)
- ③ 側面ハフは、水上ハフの上から被るように位置を合わせ、端部垂木にネジで固定します。



### 16.コンクリートの流し込み(仕上げ)

柱の埋め込み部に、コンクリートを打設してください。